

平成25年1月定例教育委員会会議録

日 時	平成25年1月18日（金） 午後1時30分～4時20分
場 所	秦野市役所西庁舎3階会議室
出席委員	委員長 望月 國男 委員長職務代理者 高橋 照江 委員 飯田 文宏 委員 内田 晴久 教育長 内田 賢司
欠席委員	なし
委員以外 の出席者	教育部長 水野 和成 生涯学習課長 横溝 昭次 教育部参事 大津 道雄 図書館長 石井 勇次 教育総務課長 山口 均 公民館担当課長 井手 則夫 学校教育課長 大津 操 教育総務課課長補佐(庶務担当) 入野 義郎 教育指導課長兼 教育総務課庶務班主事補 川崎 倫明 教育研究所長 杉山 哲也
傍聴者	1名
会議次第	<p style="text-align: center;">1 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議</p> <p>日 時 平成25年1月18日（金） 午後1時30分</p> <p>場 所 秦野市役所西庁舎3階会議室</p> <p style="text-align: center;">次 第</p> <p>1 開 会</p> <p>2 前回会議録の承認</p> <p>3 教育長報告及び提案</p> <p>(1) 平成25年「教育長年頭あいさつ」について</p> <p>(2) 平成25年2月の開催行事等について</p> <p>(3) 臨時代理の報告について</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 報告第1号 秦野市立小中学校管理職の人事異動内申について</p> <p>(4) 児童・生徒の評価・評定に係る確認作業の徹底について</p> <p>(5) 図書館と学校の連携によるリユース本の利用について</p> <p>(6) 対面朗読ボランティアについて</p>

	<p>4 議 案</p> <p>(1) 議案第1号 教育功労者等表彰・教育長表彰の被表彰者の追加等について</p> <p>(2) 議案第2号 秦野市文化財保護委員会委員の委嘱について</p> <p>5 協議事項</p> <p>(1) 平成25年度秦野市一般会計予算案(教育費)編成について</p> <p>(2) 小学校長による幼稚園長の併任について</p> <p>(3) 幼稚園と小学校の人事交流について</p> <p>(4) 県費負担教職員の処分等について</p> <p>6 その他</p> <p>(1) 平成25年度教育委員会会議日程について</p> <p>7 閉 会</p>
会議資料	別紙のとおり

望月委員長

ただいまから1月の定例教育委員会会議を開催いたします。お手元の会議次第に沿って進めさせていただきます。

まず、前回等会議録の承認ですが、ご意見・ご質問等がございましたらお願いします。

なお、秘密会に関しては会議終了後、事務局へお願いします。

—特になし—

望月委員長

それでは、ないようですので、会議録を承認いたします。

では、教育長報告ですが、臨時代理の報告については、人事案件のため秘密会での報告としてよろしいでしょうか。

—異議なし—

望月委員長

それでは、(3)については、秘密会での報告といたします。それでは「教育長報告及び提案」をお願いします。

教育長

それでは、資料No.1の「教育長の年頭あいさつ」については教育指導課長から後ほどご報告させていただきます。

資料No.2を先にご覧いただけたらと思います。2月の開催行事等でございます。

最初に2月2日土曜日は、第3回親と子の川柳大会の表彰式を文化会館で行います。今年もユニークな作品がたくさんありますので、ご覧いただけたらと思います。

2月4日月曜日は、ほりかわ幼稚園の学校訪問です。時間にご都合がつけば、ご参加いただけたらと思います。

2月5日火曜日は、神奈川県教育研究所連盟の「調査研究部会」が渋沢公民館で開催されます。この日は市議会の会派懇談会や部

教育指導課長

長会議等が重なっておりまして、当初は私が冒頭のあいさつを行う予定でしたが、教育研究所長にお願いします。

2月6日から8月4日まで、宮永岳彦記念美術館の企画展です。現在展示している作品の入れ替えを行います。

2月8日金曜日は、定例の教育委員会会議を予定しております。

2月9日と10日は、本町公民館発表会と記載しておりますが、他の公民館で開催しております公民館まつりをご理解いただければと思います。もしお時間がございましたら、ご覧いただけたらと思います。

2月12日と26日は、例月行っておりますブックスタート事業でございます。

2月18日月曜日は、第6回の園長校長会です。場所は新しくできたクリーンセンターの会議室で行います。

2月16日と17日は、鶴巻公民館まつりを開催いたします。これを持って公民館全館の公民館まつりは終了となります。

2月22日から3月22日まで、平成25年秦野市議会第1回定例会となります。一般的に言う予算議会となります。

2月の行事等につきましては以上となります。これ以外の詳細につきましては、各部課長から報告させます。

まず、資料No.1の「教育長年頭あいさつ」についてでございます。例年、教育指導課が起案させていただき、教育長に見ていただいておりますが、本年も、昨年の出来事、それから教育についてのさまざまな課題等を振り返りつつ、平成25年を意識して取り組みたいことを示しました。さらに、後半部分では、「凡事徹底」ということで、当たり前のことを当たり前のように徹底して一生懸命行うという言葉置きつつ、研修や研究によって指導方法の工夫・改善について尽力するような形にしております。この通知は、始業式の日、各園・校の教職員に配付もしくは学校長の読み上げ等で個々の教員に伝わっている状況です。

続きまして、資料No.4、「児童・生徒の評価・評定に係る確認作業の徹底について」は、既に前回の定例教育委員会会議の途中で連絡が入ってきた案件です。通知表の確認作業の徹底について、経緯と対応をお話しさせていただきたいと思っております。資料No.4をご覧ください。

今回、新聞報道等でもございましたが、西小学校が保護者から、1学期の通知表と2学期に配付した通知表の1学期の欄の評価が違っているという連絡を受け、通知表の誤記入が見つかりました。これに伴い、市内の学校全てに調査をかけたところ、本町小学校

にも一部誤記入があったため、各学校では、謝罪や訂正を行っています。

今回の通知表の間違いですが、2種類ミスがありました。一つは、エクセル表、表計算の表の打ち間違いです。西小学校、本町小学校の両校でありました。2学期の評価をA、B、Cと評価を入れるわけですが、何らかの原因でカーソルが動いたと思われます。そのため、各クラス1カ所動いてしまい、例えば、1学期、B、B、Bだったのが、2学期の通知表は1学期の評価がB、C、Bとなっているところがありました。このミスについては、エクセル表に一度打ち込んだものは触れられないように今後プロテクトをかけるという対応を検討しています。

もう一つのケースは、1学期に、学校長または教頭等、管理職のチェックを受け、誤字脱字、言い回しを含めて直したものをパソコン上で修正し、打ち出して原本として出しているのですが、2学期の成績処理に、1学期の作業途中の段階のデータが使われてしまったため、2学期の通知表の1学期欄が異なるということが発生しました。例えば、言葉に誤字が残っていたり言い回しが違ったりというところが出てきました。これは1クラスなのですが、数が多かったということでもあります。このミスについては、作業が終わった段階で最終保存をしっかりと、そのみをしっかりと保護していくことで対応するように話をしております。

いずれにしても、2学期末に、2学期の評価・所見については、担任、学年、管理職でしっかり通知表チェックを行っていたのですが、再度掲載していた1学期の欄についてはチェックしていなかったため、校長会で詳しい事情の説明と今後の対応ということで話をし、指示をしてきました。

パソコンでの作業が負担軽減になることは間違いありませんが、その便利さに隠れたリスクをしっかりと捉えて対応を想定していかないといけないと校長にも話をしました。通知表の作成をパソコン処理に変更した数年は、特に注意してチェックをしてほしいと話をしました。

今後、来年度以降の対応について、校長会でも話をしましたが、もう少し具体的に話を詰めて、再発防止について取り組んでいきたいと思っています。

資料No.5をお目通しいただきたいと思ひます。

「図書館と学校の連携によるリユース本の利用について」ということで、市民の方から寄贈されておりますリユース本のうち、市立幼稚園、こども園を含みますが、小学校及び中学校で利用が

図書館長

見込まれる本を差し上げるという形で例年行っております。今回の選定期間は、2月6日から8日までの3日間、午前9時から午後6時半まで、図書館の2階会議室で置いております。この期間、自由に予約ができます。その引き取りは、1週間後の2月13日（水）から15日（金）まで、午前9時から夜7時まで、1階の作業室で引き取りを予定しています。提供する本は絵本が149冊、一般書が7冊、雑誌が100冊です。

希望される本については、リストを各学校にメールによりお送りいたします。この本について、選定期間の間に来て見ていただき、「この本がいい、これが必要だ」ということであれば、ご希望により選ばせていただきます。

なお、1冊の本に希望が多い場合は抽選をさせていただきます。抽選結果については、また図書館から各学校へメールでお知らせする予定です。

資料No.6をお目通しいただければと思います。

対面朗読ボランティア養成講習会は、図書館としては初めて行う養成講座になりますが、私たちの周りを取り巻く中で、本をそのまま見るということができない、そういう目のご不自由な方がおられます。そういう方については、音で伝えることができるのですが、なかなか難しいということがあります。そうした中で、お手伝いいただけるボランティアを養成しようと、2月2日、9日、16日、23日、4回に分けて、図書館で養成講習会を実施したいと考えております。

なお、これを実施するに当たりましての経過ですが、現在、秦野市の図書館では、このような形で朗読をすることを「対面朗読」と呼んでおりまして、平成23年の頃、市内の男性ですが、そういう希望がございました。市としましても、市の障害福祉課等とも相談し、県のライトセンターにも相談し、また、ボランティアの録音奉仕団にも相談を投げかけました。そうした中で、試行として、昨年9月から、月2回から4回行っていますが、実施していく中で、ボランティア団体の方から養成講座というようなものはできないだろうかと要望もあり、まずやってみて、きっかけをつくって見たらどうかというご意見をいただきまして、実施したいと考えております。

ただ、この講習会は初めてなので、どのくらいまでうまくできるかは未知数な点はございますが、こういうことを契機に、図書館としても、研修に協力をしていきたいと思っております。

それでは、「教育長報告及び提案」ということで、(3)以外

望月委員長

飯田委員

で、(1)、(2)、(4)、(5)、(6)と説明があったのですが、一括して、ご質問、ご意見等ございませんか。

教育指導課長

資料No.4の通知表の件ですが、たまたま私の娘のクラスでありまして、一昨年から西小学校の通知表は、手書きからパソコン入力という話があって、時代の流れでしようがないという感もあるのですが、保護者からは、温かみがないのかなという意見もありました。確認ですが、現在も手書きの学校はあるのでしょうか。

現在、2校が手書き・パソコンどちらでもいいとなっているのですが、手書きでやっている教員はいません。通知表の全てをパソコンで作成しているのは中学校と小学校4校、あとの小学校9校は、今までどおり出席や評価は手書きなのですが、所見の欄については、パソコンで打って、それを貼っています。

望月委員長

ほかにどうでしょうか。

それでは、「教育長年頭あいさつ」ですが、教育指導課は大変だったと思います。いわゆる国や県や市を踏まえながら網羅しなければならないということで、短いながら、これだけ書くということは大変な作業だったのではないかと思います。

今年度は「凡事徹底」というキーワードがあるようですが、一回だけだったら先生方になかなか浸透しないので、学校訪問や教育訪問で随時この考え方を、今年、教育長が年頭挨拶の中でこういうような考え方を述べた。こういう教育活動は教育長のこういう考え方と一致している、そういうふうに整理してやると年頭挨拶がもっと有効に活用できると思いますので、そんな配慮もしていただければと思います。

図書館長

それから、対面朗読ボランティアですが、初めての企画ですか。

こちらのボランティア養成については初めての試みになります。実は、福祉の対面朗読については、秦野市におきましても、福祉部の所管になりますが、障害者の福祉を増進させるということで、平成22年に、秦野市障害者福祉計画が策定されました。この中で、図書館の中の役割、これからやる部分のサービスとして、ボランティア等による対面朗読を推進しますということがございます。関連するボランティア団体とも相談をした中で、秦野市において、希望者が1名おられ、そういうものはできないかとお話があったそうです。

その方は、秦野市だけではなく、お隣の伊勢原市または厚木市にも行かれて、朗読を実際に受けているという話がありました。本市もそういうことができないかということがありまして、福祉団体のご協力が得られないか、またライトセンターにご指導いた

だき、試行ということで行っています。本の種類によっては結構時間等もかかります。朗読するのにボランティア1人ではなかなかできないので、一回に読まれる本の冊数によっては、2人、3人という人数が必要ということもあり、ボランティア団体も、そこまでの人数を確保するには組織の中ではまだ弱い部分もあるので、ご協力いただける方を増やしていけないかという話がありました。今回、初めてですが、一般の方に呼びかけをしまして、協力がいただける方を募っていきたくと考えております。

高橋委員

今の対面朗読ボランティアについてですが、目の不自由な方に対しては、録音して、それを聞かせるサービスがありますね。その録音と対面の違い、要望もですが、内容も違ってくると思うのです。

図書館長

こちらのボランティア団体については、秦野市録音赤十字奉仕団ひまわりで、この団体については、委員からお話がありましたように、本を読む形で録音して、本を実際にCD等に入れる作業を主にやっておられます。その中では、「広報はだの」についても協力していただいております。こちらの朗読については、そのボランティアが直接読み聞かせるということで、録音ではなく、本をそのまま読むという形で分かれております。委員さんがおっしゃいましたように、録音は今まで30年ぐらいテープでやっていたのに対して、最近ではCDで録音をしております。

望月委員長

対面朗読ですが、新しい事業ということで大変と思いますが、これは今の時代に対応する一つの事業と私も思うわけですが、新しいことをやるのは非常に大変ですが、うまくいくように頑張っていたいただければと思います。

ほかにありませんか。

—特になし—

望月委員長

それでは、次に移りたいと思います。

次に議案に入りますが、本定例会は2件の議案が提出されております。

「議案第1号 教育功労者等表彰・教育長表彰の被表彰者の追加等について」は、個人情報が含まれているので、秘密会での審議ということによろしいでしょうか。

—異議なし—

望月委員長

よって、議案第1号については秘密会での審議といたします。

それでは、「議案第2号 秦野市文化財保護委員会委員の委嘱について」、説明をお願いいたします。

生涯学習課長

それでは、「議案第2号 秦野市文化財保護委員会委員の委嘱について」、ご説明させていただきます。

文化財保護委員会委員の任期がこの1月28日で満了となるということがございます。それに伴い、後任の委員を委嘱する旨を今回、議案として出させていただきます。

現在、この委員会で委員は7名お願いしてございます。今回の任期満了に伴いまして、安本利正委員、昭和38年の文化財保護委員会の立ち上げ当初から委員としてやってきていただいた方ですが、高齢ということもございまして、退任されます。それに伴い、今回、名簿の中の7番目の秋田かな子さん、東海大の准教授でございますが、考古学が専門で、市内の調査にも数多く携わっておられるということでございます。考古の分野については安藤委員と2人態勢でお願いすることになりますが、他の委員は引き続きお願いする形ということでございます。

よろしくご審議のほどお願いいたします。

望月委員長

それでは、本件について、ご質問、ご意見、ございますか。

この中で一番古い委員さんは誰ですか。

生涯学習課長

一番古いのは安藤さんです。

望月委員長

松田町の教育委員さんですね。

教育長

今は東京ですが、安本先生が最初から今までずっとやっていた。その前には、前場さん、既にやめられています。皆さん大分長くやっただいていて、安本先生がご高齢ということで、本人を訪問しましてお話をしたところ、退任の意思を示されたということで、東海大学の准教授については、提携事業の関係を企画課が行っていますので、そこにもきちんと話をした上で選ばせていただく形をとらせていただきました。

望月委員長

いろいろな専門分野から選ばれているようです。いろいろと選ぶのは大変だったのではないかと思います。

では、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

—異議なし—

望月委員長

よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

次に、協議事項に入ります。

今定例会には4件の協議事項がありますが、「協議事項(2)小学校長による幼稚園長の併任について」、「協議事項(3)幼稚園と小学校の人事交流について」及び「協議事項(4)県費負担教職員の処分等について」は、個人情報が含まれているため、秘密会での協議としてよろしいでしょうか。

—異議なし—

望月委員長

教育総務課長

よって、(2)から(4)については秘密会での協議といたします。

それでは、「協議事項(1)平成25年度秦野市一般会計予算案(教育費)編成について」の説明をお願いいたします。

それでは、教育費の予算編成について、ご説明をさせていただきます。「協議事項1」と書いてあります資料をご覧ください。

前回12月21日教育委員会会議の際に、教育委員会として当初の予算要求のご説明をさせていただきました。今回は、その後、財政サイドから示された示達額、示達後の要求額を入れた一覧表を出させていただいてございます。

一番下の欄、部の合計でございますが、2番目の25年度当初要求額22億7,186万4,000円に対しましてマイナスの1億4,715万8,000円ということで、6.1パーセントのマイナス、これが当初の要求の額でございます。その右の示達額、仕事始めの1月4日に財政サイドから示された数字でございますが、21億4,314万8,000円と25年度当初要求額と比べ、1億2,871万6,000円、約5.7パーセントを財政課で削減をしてきました。これを受け、1月11日の段階で、復活要求額、22億675万1,000円、示達額に対して6,300万円ほどの額、削減された部分の約半分の復活を要求してございます。主なものは、この後、各担当からご説明をさせていただきますが、大きな部分は、幼小中学校施設の改修事業費が一番大きいものでございます。そのほかに、いじめ、不登校等の人的な部分のソフト事業の復活というものが主な部分でございます。

当初要求の額で、市の予算全体で31億円ほど足りない状況でした。財政課が13億ぐらいをカットしまして、この示達の段階でまだ十何億円足りないという話も出ているところでございます。

今後、実は来週1月22日にこの予算に関する市長査定がございます。特に復活する示達後の要求額について再度要求をしていく場になると思います。その後、2月8日の教育委員会会議で教育費の部分についてご検討いただいて、2月22日に議案として発送していくという予定になってございます。今日は協議ということで、次回の2月8日教育委員会会議のときには議案として提出をさせていただく予定になってございます。

それでは、各担当課の事業別の内訳がございます。まず、教育総務費でございます。2ページから4ページまででございますが、

学校教育関係の予算は、教育総務課と書いてあって、その下に教育総務費、これは款項の項というのですが、教育総務費、小学校費、3ページに中学校費、幼稚園費、こんな分けて教育総務課も学校教育課も教育指導課もいくような形になってございます。

まず、教育総務課の全体でございますが、当初要求額9億6,019万3,000円でございます。示達額が8億8,406万2,000円と約7,600万円の削減をされて、それを受け、約4,500万円を再度復活の要求しているところでございます。特に改修事業費が7,000万円ほど切られましたので、この復活で新たに精査して4,500万円ほど再度復活という内容でございます。

個別事業でございますが、教育総務費でございます。4番目に、財団法人学校建設公社貸付金ということで、24年度は3億ございましたが、25年度は全てゼロと前回ご説明しましたが、今まで学校建設公社が施行していた改修工事を全て事業に入れていくということで、小学校費以下に全て入れるということで全額をカットしてございます。

5番、6番は、新たに昨年度から取り組んでいる部分ですが、5番は、市内小中学校の普通教室への空調設備の設置でございます。来年度については、設計の業務委託の予算を1,100万円ほど要求したのですが、100万円カットされ、復活要求はせずに、そのまま1,000万ということです。6番目の西中学校屋内運動場等複合施設整備事業費は、西中、西公民館の複合化の建設にあたり、今年度委託をしております。それを受けて、全体の事業構想をつくり、25年度については、より詳細な事業の計画になる基本計画を策定しているという部分の予算1,000万、委託費でございます。これも10%カットされて900万でやっていくということでございます。

そのほか、小学校費で、まず8番の施設維持補修費は、前年に比べて900万円ほど減してございます。これは、先ほど言いました公社の事業が全て一般会計の1件ずつ載せる事業に変わるといことで、緊急的に、または、今の時点では把握し切れない部分の改修工事も見込まれますので、この維持補修費の中に900万円ほど増額をさせていただいております。

9番は施設維持管理費でございます。これは、公社の今まで借りてきた返済金があるわけですが、24年度に比べて1,000万円ほど、公社から金融機関に返済するお金が減額しました。そういうことで約1,000万円減ってございます。

12番は、小学校、中学校、全部ですが、公社にかわり小学校改修事業費というようなことで、25年度、1億7,390万円上げさせていただきました。全部で10工事ありましたが、7工事にカットをされております。そういうことで約5,000万円減額をされております。これについては、10工事全て必要だということで、示達後の要求額として再度計上しております。ただ、工事自体は、全体の事業費の1割程度、個別の事業費はカットしますので、全く同額ではなく、若干減額をしている状況です。

中学校費についても、維持補修費や維持管理費は同様の状況でございます。

19番目の中学校施設改修事業費についても、5,900万円要求したところですが、4,581万円ということで、約1,300万円減額をされております。これについては7つの工事を上げたのですが、示達では2つの工事がカットされました。そういった中で、2工事のうちの1つを示達後の要求額ということで再度上げております。

幼稚園費でございます。24番の運営事務費が1億2,161万1,000円と前年に比べ、約1,200万円増えています。これは統合加配の教諭もしくは臨時職員、例えば、担任の育休の代替、そういう部分の幼稚園の臨時教諭の経費が大きな部分を占め、1,200万円、約10パーセント増額をさせていただいております。25年度は、全体では2名の臨時職員が増員ということと、実は、最低賃金の賃上げ等の部分で、臨時職員の時給の単価が増加した部分で1,200万円増額をさせていただきました。

25番目、施設改修事業費については、2,770万円要求しましたが、示達では約700万円削られてございます。幼稚園については8工事上げたのですが、5工事カットされ、700万円ほど減ったのですが、これもカットされた3工事のうち2工事の復活ということで示達後要求額に載せさせていただいております。

それでは、5ページをご覧いただきたいと思っております。

学校教育課は、25年度当初予算要求としては7億4,697万6,000円と前年に比べ、約5,000万増ということで予算要求させていただきました。それに対しまして、示達ということで財政当局からは2,783万8,000円減の7億1,913万8,000円という示達を受けました。中身を精査いたしまして、そのうち453万9,000円ほどの復活要求ということで、7億2,367万7,000円を来週の市長査定で要求していく予定でございます。

学校教育課長

学校教育課の主な内容は、多項目にわたってはございますが、主な仕事は、小中学校における教育活動に要する教材・教具、理科教育の備品、ICT環境整備、要はパソコンです。こちらのリース代等、教職員や児童生徒の健康管理費、身体検査等、要保護・準要保護の児童生徒に対する学用品、給食費、修学旅行費などの就学援助費でございます。さらには、安全で安心な学校給食を提供しようという経費、私立幼稚園の就園奨励費補助金が主なもので、大部分を占めてございます。

今年の24年度予算と比べて変わったものを幾つか申し上げます。まず6ページ、No.11の小学校教育費で、図書補助員の配置でございます。教育委員からもご指摘等を受け、予算要望をしておいたのですが、財政当局からは全部カットということでございました。これはやはり必要性がありますので、現在、図書補助員、小学校においては7名、1名が2校を受け持つ状況でして、週4日勤務ですが、25年度は、1名1校、週4日ということで、基本は各校に1名ずつという予算要望をします。

同じ6ページの18番については、給食調理費でございますが、ほとんどが学校給食の委託化でございます。このところでございますが、ミスプリがございます。「事業概要」の2行目に「7校」とございますが、これは「8校」の間違いでございます。申しわけございません。したがって、その次の「6校」は「5校」ということになります。大変申しわけございません。訂正をよろしくお願いいたします。

現在、委託については8校でございますが、今年度、北小学校で9月から委託化を実施しております。来年度は8校で4月からのスタートということで、その分が増えています。今後の委託ですが、給食調理員の退職に合わせて順次行う予定ではございます。今のところ、26年度に新たに1校の委託化ができる状況です。その後は、当分、退職者が出てまいりませんので、数年はそのまま現状維持ということになると思います。

続きまして、19番の給食設備等維持管理費ですが、これが大きく伸びてございます。これは、学校建設公社で改修が行われなくなったため、各事業費で執行するわけです。給食調理室の改修工事等がここに組み込まれたために、増加している状況です。

7ページの25番でございますが、これが前年と比べて大きく減少しております。この主な内容は、新学習指導要領が始まり、今年度、先生の指導書を大量に購入してございまして、指導書の購入がなくなるということで金額が減るという状況です。

教育指導課、教育研究所について、ご説明させていただきます。
教育指導課ですが、今回の予算について、いじめ、不登校、問題行動の対策について主に力を入れて重点的に配置していくということで考えて予算編成をいたしました。広い捉えですと支援教育ということになると思うのですが、必ずしも、いじめ、不登校、問題行動だけではなく、通常級にいる子どもたちの支援ということについて、予算を組みました。

まず、教育総務費の4番、いじめ・不登校対策事業費でございます。昨年度590万5,000円、本年度は776万4,000円と要求いたしました。この中には、いじめ・不登校の対策として、昨年度まで教育研究所で行っていた巡回教育支援相談、小学校の巡回教育の相談ですが、小学校、中学校の両方を巡回してもらうということで、2名増員して、中学校区で1人の指導員が回る形で予算要求をしています。ただ、現在のところ、示達では認められておりませんので、これについては今後も要求していきたいと思っています。このあたりは、いじめの早期発見という部分、それから幼小中一貫教育について、学校の経験がたくさんある指導員がアドバイスをしていくという意味も含めて置いておりますので、その辺のことを主張していきたいと思っています。

6番の問題行動等対策指導助手派遣事業は、現在2名の指導助手が配置されていますが、さらに2名増員して、現在少し対応に苦慮している学校について対応していきたいと思っております。これについては、示達では満額認められたということでございます。

8番の「いのち」を大切にすることをはぐくむ教育推進研究委託事業費は、神奈川県「いのちの授業」ということで研究委託が来ております。これは8万ということで置いてありますが、国とも関連するので、まだ神奈川県から正式な金額がおりてきていないのですが、いずれにしても、命を大事にする教育、道徳教育、体験学習を中心に委託をしていくということで考えております。

10ページですが、10番の小学校教育指導助手派遣事業、中学校費の13番の中学校教育指導助手派遣事業、ともに要求は昨年度より増額しております。指導助手の人数はそのままなのですが、今まで午前中4時間で終わっていた勤務時間を5.5時間に延長して、いじめ早期発見、それから、休み時間等も含めて、子どもたちの学習相談も含めて、時間の延長を求めています。指導助手が、お昼休みに、それから5時間目にかけて指導ができるようにしていきたいと考えての予算です。これについては示達で了解していただいておりますので、来年度はその方向でやっていき

たいと思っています。

続きまして、教育研究所に移ります。

教育研究所は、研究の事業費に力を入れて予算編成をしました。

2番の幼小中一貫教育研究事業費です。一つは、幼小中一貫教育の検討委員会でも話題になった部分で、市民にも開かれた幼小中一貫教育の研究発表会のような形でやっていきたいということ、そういうことを考えての予算組みをしました。本年度、東海大学の大学生にお願いした、内田委員にご協力いただいた教科支援員ですが、本年度は、試行ということだったので、旅費も含めて一切ボランティアという形をお願いしていたのですが、例えば渋沢地区、今後は北地区と遠いところについては、せめて旅費は出すべきだろうということで予算取りをいたしました。ボランティアへの謝礼という形で、ボランティアに新規の予算をとりました。これについては了解を得ております。

次に、幼小中一貫教育です。現在全ての学校で幼小中一貫教育の研究をやっていますし、今後も続けていきますが、その中で、特にモデル地区を決めて、事業内容やカリキュラムですとか、どんなふうに授業が変わっていけばいいかという研究、それから、地域の人たちに御協力いただきながらの研究ということで、テーマを絞った中で、他の地区のモデルになるような研究をお願いしたいということで、当初は80万の予算を計上し3地区ぐらいのモデル地区を考えていたのですが、当初要求では通らないということの中で、少し絞ってやっていきたいと考えております。

教育研究所については、その予算にもあるように、なるべく事務的などところはカットしながら、調査研究に力を入れていきたいと考えております。

生涯学習課長

生涯学習課からは今年度の予算額が大きく変わったところがございます。その部分について、事業別にご説明させていただきたいと思っております。

生涯学習課は、当初要求した額に対して示達額は約4,000万円減額という形になってございますが、復活要求等については行っていません。

事業ごとにご説明させていただきますと、10番の市史資料保管活用費が150万円の増額になってございますが、これは、来年度、軽便鉄道が100周年を迎えることから、その記念事業として、刊行物の発行や講演会を開催したいということでの増額という形になってございます。

11番の市史資料室維持管理費については、今年度に比べ、約

200万円の増額になってございますが、25年度中に資料室が展示館に移転するというのもございまして、その移転の費用として約200万円を計上してございます。

それから、13番の全国報徳サミット推進事業費です。全国報徳サミット秦野市大会が25年度に秦野市で開催されるということに伴い、新規事業ということで、予算要求させていただいてございます。

次は20番の桜土手古墳公園・展示館管理運営費については、今年度に比べ、約1,400万円の増額になってございますが、展示館の空調設備を更新することが主な増額の原因となっております。全体で約2,100万円が空調設備の更新に必要ということでございます。

14ページですが、各公民館営繕工事費については、前年度に比べ、約1,000万円の減額という形になってございます。今年度、東公民館にエレベーターを設置いたしましたので、その分が来年度はないための減額と理解していただければと思います。営繕工事では、鶴巻公民館の空調を今年度実施しているのですが、来年度も引き続き更新の工事も行います。

27番、なでしこ会館維持管理費については、平成25年度からの貸館業務の廃止に伴い、従来から予算計上しておりましたハローワークや休日歯科診療所、適応指導教室については、来年度は企画課で予算対応等をする事になってございます。それに伴い、予算額が減額になっております。来年度要求しております予算額については、原状復旧の工事の予算でございます。

それでは、資料15ページをお目通しいただければと思います。

図書館については、今まで予算ベースでいうと、24年度と25年度、当初予算ではマイナス2.4パーセント、示達額でいきますとマイナス627万5,000円という形でございます。

主な科目での説明をいたします。まず2番の施設維持管理費は、24年度と25年度を比べ、金額が下がってございますが、図書館の長寿命化計画で、24年度については外壁工事等で約2,000万円の工事がございました。25年度については、施設内の衛生設備及び給排水施設の更新工事をするということで、金額的には外壁工事よりも少なくなっているため、対前年度は下がっている状況でございます。

続きまして、4番目、図書館活動費になります。24年度、25年度を比べると、25年度の金額が増額でございます。これはブックスタート事業の充実ということと、おはなし会等、さまざま

図書館長

まなボランティアの協力をいただいておりますので、そういう部分、あるいは学校との連携をする部分の体制にかかる経費を計上した関係で増えてございます。

続きまして、5番の郷土文学資料収集等経費でございます。平成25年は、前田夕暮生誕130周年であるため、記念事業として特別講演を実施いたします。金額は24年度より減額してございます。

8番目、図書館事務費については、24年度と25年度を比較しますと、約900万円の増額です。図書館については、一部窓口業務等を委託してございます。25年度から新たに事業が始まる等々あるため、業務の拡大、電算システムの更新もございまして、今年度、委託事業等が増えている状況でございます。その中で、図書館事務費について、示達後の中では約280万円でございます。

望月委員長

たくさんありますので、課ごとに見ていきたいと思えます。

それでは、教育総務課について、何かご意見等がありますか。

市長査定はいつですか。

教育総務課長

1月22日です。

望月委員長

それでは、市長査定が1月22日ということをお含みおきください。

教育総務課で何かありますか。

飯田委員

改修工事で10工事中7工事に削減や8工事中2工事に削減とありますが、この工事内容を、差し支えなければ、どんな工事がカットされてしまうのか、教えていただければと思います。

教育総務課長

小学校費については、3事業中2事業が、キュービクルという変電設備の工事です。もう、1事業は教室間のインターホンの老朽化に伴う更新工事です。

中学校費については、学校の放送設備です。今回、一斉放送等を行う際の放送設備の改修工事が削られております。放送設備の改修が2件ほど削られてございます。

幼稚園費については、一つは、内部改修です。廊下がはがれてくるのをガムテープでとめていたのですが、もう限界だというようなことで、床の内部改修をする事業、トイレは洋式もあるのですが、今の子どもは和式を使わないというようなことで、洋式の割合を多くするトイレの改修工事、外構、周りのフェンスが老朽化していますので、その張りかえの工事でございます。

実は、基本的な躯体本体を長寿命化する工事は切られていません。比較的金的には大きくない部分の改修工事が切られている

望月委員長

傾向がございます。ただ、最初に言いました小学校のキュービクルは1基当たり1,000万円を超える事業ですので、やはり長寿命化という部分にかかってくる小学校2カ所のキュービクルの更新工事は切られています。それ以外は、長寿命化という部分とは外れるような部分を財政サイドで切ってきているという状況です。

ほかにどうでしょうか。

教育総務課長

4ページの幼稚園教育活動推進事業費の63万3,000円、個性ある幼稚園教育活動ですが、配分の仕方はどんなふうになっているのですか。

配分については、各園から来年度の事業予定を上げていただいて、それに対して予算をつけていくというようなことで、約2万2,000円の減額はしていますが、全ての幼稚園から上がってきた部分、謝礼が中心になります。今時点では消耗品の部分は不要ということで謝礼に特化した部分で約2万2,000円が減ってございます。

望月委員長

そうすると、認定こども園の施設が一緒のところがありますね。あくまでも、これは純粋に幼稚園の教育活動費に使っているということでしょうか。あるいは、例えば講師を呼ぶ場合に、この活動については、こども園の園児たちも参加させているということもあるのですか。

教育総務課長

4歳、5歳児は保育園にもおられますので、全てのこども園がということではないですが、4歳児、5歳児全体を対象としてやれる部分では、保育園に通っておられる園児も加えてやっています。事業によっては幼稚園の園児だけを対象にやっているものと両方あるようですが、全体でできるものについては、幼稚園だけでなく、保育園も含めて行っている状況でございます。

望月委員長

ほかにいかがですか。

—特になし—

望月委員長

それでは、ないようですので、学校教育課に移りますが、ありますか。

内田委員

直接関係ないのかもしれませんが、小学校と中学校の理科教育執行について、文部科学省が補正予算の中で、小中学校の理科実験器具購入費として約100億円を導入するというお話があったかと思うのですが、補正予算なのでこれからだと思うのですが、秦野市では、この金額に場合によっては幾らぐらい追加されるのかということがおわかりになればお聞きしたいと思いますが。

学校教育課長

まだ、金額はつかんでございませんが、いずれにしましても、

内田委員

理科については、学校等の要望等をお聞きしましてやっているわけですが、整備率もかなり低いので、その辺については、国庫補助がつかますので、なるべくいい方向にいくように、今後、補正予算等の措置で対応していくことになると思います。

望月委員長

全国の小中学校が対象となると思いますから、約100億円といえども1校あたりは、わずかな金額になってしまうとは思いますが、よろしくをお願いします。

学校教育課長

ほかにどうでしょうか。

要保護・準要保護の就学援助費は24年度よりも減額されていますが、時節柄、国会でもいろいろと金額の問題について議論されているようですが、減額でも対応できるのですか。

望月委員長

この辺については、人数の把握が非常に難しいのですが、基本的には、毎年、少しずつですが増えてございます。こういう数字をもとに、今年度の途中経過も含めて、来年度の予測をしての予算計上でございます。今の試算ですと少し減っていますが、これで多分大丈夫だろうと読んでございます。

望月委員長

ほかにどうでしょうか、学校教育課は。

高橋委員

—特になし—

それでは、教育指導課に移りますが、いかがでしょうか。

高橋委員

大変な問題になっていましていじめ問題ですが、示達額が減額されています。私たちとしては満額要求してほしいという思いがあるのですが、いじめ問題に対する予算額について、詳しく教えていただけますか。

教育指導課長

現在、小学校に派遣している元校長、総括教諭が3名おります。中学校には県から派遣されるスクールカウンセラーが毎週1回来るのですが、小学校には月1回しか来ないということで当初、小学校における相談機能の充実を目指して配置した経緯があります。実際、今の状況としては、子供や保護者の相談の他に、教室を回ってもらい、気になるお子さんに声をかけたり、担任と話をしたりしております。今回、いじめのことで、他市町村もいろいろ対応しているのですが、本市としては、巡回教育支援相談員が、いじめの早期発見につながると考えています。要は、学校の教員ではない者が見ること、話しやすそうな先生たちに来ていただくことで、いじめ等の対策になることを期待しています。

ただ、中学校も、なかなか目が届かないということもあり、小学校から中学校に子どもたちは上がっていきますので、あと2名の支援員を増やすことで、例えば、東小学校、東中学校では、午前中小学校に行き、午後は中学校に行くという繋ぎをやっていく

ことも含めて考えております。

それから、いじめの対応については、教室に入れないお子さんたちに対して、彼らが教室に入って勉強するだけでなく、中学校卒業後の自分の生き方、進路も含めて考えを持てるような指導をする専門の指導員をお願いしています。これについて時間を少し増やしていきたいということで、認められたところでもあります。

それから、ソーシャルスキルの研修会ということで、夏休み中、各学校から、子どもたちが友達との関係づくりができるような活動をどうやってつくっていくかということ学ぶ研修会ですが、これも来年度もやっていきたいということになります。

あと、現在、渋沢地区に、いじめ・不登校の改善研究委託をしております。これについて、地区でいじめ・不登校に対してどのように改善をしていくのかという研究委託しつつ、支援をしているところでもあります。

いじめ・不登校対策は、事業費だけでいくとそこだけになってしまうのですが、例えば、教育指導助手の時間を増やすということは、学力向上が主眼ではあるのですが、担任の目が届かない部分について教員以外の目を入れるということもメリットとしてはあります。教育指導助手が、今までお昼で帰宅していたところを2時過ぎまで勤務できるようになることは大きな効果があると思います。問題行動の指導助手も、現在はお昼までの勤務ですが、これも午後まで勤務できるようになりましたので、その辺のところでも充実はさせていただいたということになっています。

あともう一つ、特別支援学級の介助員の3名増員をお願いしている中で、示達では認められていないのですが、これも市長査定まで上げていきたいと思っています。昨日も就学指導委員会があったのですが、対象のお子さんの数が増えているその中でも一年間を通して見ると、自閉症・広汎性発達障害、または情緒的な課題についてきめ細かい支援が必要であるお子さんが特に増えてきています。担任だけではなかなかきめ細かな対応が難しい部分もあり、これにも対応していかなければいけないと思います。特別支援学級のお子さんたちへの適切な支援のためにもしっかりと予算をつけて対応していくことで、学校全体としての支援体制の充実をしっかりとしていきたいと考えています。

教育部長

いじめ・問題行動等、教育指導課長から増額の内容的な話をしましたが、数字的にまとめたものをご説明させていただきますと、直接、間接的なものをあわせて、いじめ・不登校対策、問題行動、教育指導助手、幼小一貫教育の中の学習支援、特別支援の介助員

望月委員長
教育指導課長
望月委員長

教育長

等が、前年度の合計で約9,200万円になります。今年度は、要求の段階で約1億2,100万を要求させていただきました。示達でいただいた金額が約1億1,000万ですので、前年度より約1,750万円の増加になっているというのが現時点の状況でございます。そういう中で、復活要求ということで、教育指導課長がお話した特別支援学級介助員、それからいじめ・不登校の巡回教育支援、学校の図書補助員等を合わせて、金額にすると約870万円の復活要求をしていきたいとの考えでございます。

介助員等は、今は神奈川県補助はないのですか。

はい。全て秦野市独自の支出になります。

部長の説明を聞いて、教育の今の課題が反映されていると思いました。とりわけ、この前の教育委員会的时候にも話をしたかもしれないのですが、私は12月に、ある県の講演に行ってきたのです。講演の後、食事をしながら、「秦野市では教育指導助手を52名雇っている」という話をしたら、秦野市よりも若干大きい市の教育委員会の方から、「秦野市はすごいですね」と言われたのですが、学校現場では、まだまだ不十分などころがあるとは思いますが、行政側のこういう努力で増額が図られているということは、学校現場にもよく説明してください。それでも不満はたくさんあると思いますが、ぜひ説明して、市の努力、あるいは財政局の努力等についても話をすると、よりいいかなと思います。

今回の予算要求に当たり、私から指示を出したのは、昨年来のいじめの問題、暴力の問題、あるいは給食の問題と次々と教育関係でいろいろなことが起きていますが、対岸の火事とは言っていない。あすは我が身です。少なくとも、こういう時期に、そういうことが起きているときに、必要な予算の要求をするように指示しました。もちろん、財政はお金がありませんから、切ってきますが、市長に対しての意思表示として、我々が今こういうようなことでやろうとしていることをしていこうという指示をしてありました。

その結果で、部長が言ったように、課題となっている部分での総体の経費としては、現時点では上がっている状況もありますが、ただ、全て満足かという、そういうわけではありません。それからもう一つは、学校建設公社がなくなることによって、施設関連で、どうしても多少窮屈さが出てくる可能性は否めないです。そういう全体のバランスの中でやらざるを得ないということもありまして、市長査定では、部長、課長が積極的に窮状を訴えていくということをみんな思っていますので、要求したものを丸々と

望月委員長

はいかないとは思いますが、これは教育委員の意向でもあるということをお伝えながら対応したいと思っています。

教育指導課長

今の教育課題についての教育委員会事務局の努力について敬意をあらわしたいという話をしたのですが、一つ気になるのは、教育指導助手や介助員はいいのですが、部活動の顧問派遣事業が全く同じなのです。それで対応できるかどうか、その辺についてはどんな見通しなのでしょう。

望月委員長

現状としては、学校からの要望としては足りているということなのです。一時期は、幾つか希望があって、「ちょっと待って欲しい」と言っていた時期がありましたが、今は要望がたくさんは出てこなくなったという状況はあります。ただ、部活の顧問で、今後必要というところが出てくると思います。教員の異動によってもまた違ってきますので、来年度については現状維持という形でやらせていただきます。

望月委員長

ほかにどうですか。

—特になし—

望月委員長

それでは、生涯学習課に移ります。

何かご意見、ご質問はありますか。

生涯学習課長

28番の放課後子ども教室実施経費、秦野市ではどのような内容でしょうか。

これについては、上小学校のみです。これで3年経過する形になりますが、来年度も実施するというので今のところは考えてございます。これとは別に他校への展開をしていきたいという考えを持ってはいますが、今年も当たって見たのですが、なかなか適当なところが見つからないという中で、来年度も引き続き上小学校で進めたいと思っています。

飯田委員

13番の全国報徳サミット推進事業費ですが、この事業費というのは秦野市だけが負担する金額ですか。秦野市だけで行う事業ということなのでしょう。

生涯学習課長

そのとおりでございます。会場市である秦野市で負担することになります。ただ、食料費等は、各市町にも出していただく形にはなりますが、運営費は会場市が出すことになります。

教育長

報徳サミットに関しては、先日見ていただいた前年の御殿場の経費が約600万円ということですので。あそこの場合には、報徳の小集団がたくさんあります。そういうところも相当な負担をされているそうです。今ここに書いてあります金額は一般会計で秦野市が予算組みをしている予算ベースでの金額です。もちろん、農協などの関係団体には、直接お話をし、寄附という形で、実行

望月委員長
生涯学習課長
望月委員長

委員会に補助金という形で出しますので、そこが受け入れになって、全体の事業費を含む形になっていくと思います。そういうところで実際の運営をするということになりますと、これよりも多少膨らむ形になるというイメージは持っています。

報徳サミットは10月ですね。

10月18、19日です。

ほかにありませんか。

—特になし—

望月委員長

それでは、図書館について、何かありますか。

—特になし—

望月委員長

それでは、いろいろと出していただいたのですが、先ほど申しましたように、市長査定が1月22日ということですので、自宅で再度読んで気がついたことがあれば、各関係課等に連絡をしていただければと思います。それでよろしいですか。

—異議なし—

望月委員長

では、協議事項の質疑を終わりたいと思います。

それでは、その他に入りたいと思います。「平成25年度教育委員会会議日程について」の説明をお願いします。

教育総務課長

平成25年度に開催します教育委員会会議の日程の案でございます。お配りしました資料をご覧ください。

平成25年度の教育委員会会議の日程でございます。教育委員会会議は基本的に第3金曜日の毎月15日から21日までの間に開催することが慣例となっております。そのことを踏まえて日にちの設定をさせていただいておりますが、10月は11日金曜日と第2金曜日でございます。先ほど説明がありましたとおり報徳サミットが第3週でございますので、1週間早めさせていただきました。また、2月につきましては、今年度も同様でございますが、市議会の議案発送が2月中旬になります。それまでに教育費に関する議決をいただかなければいけないため、第1金曜日に開催する設定をしております。同様に3月定例教育委員会開催予定日が3月14日と第2金曜日にしておりますのは、まだ議会日程がわかりませんが、今年度の議会日程を見ると第3金曜日が議会閉会日と同日になる可能性があるため、第2金曜日にさせていただきました。今までご説明した月以外は第3金曜日で設定させていただいておりますが、例えば議員連絡会というものが毎月16日がございます。案件があるかはわかりませんが、そういう部分や皆様のご都合を含めて変更を必要に応じて行っていきたいと思っております。

望月委員長

それでは年間予定の案ということですか。
何かありますか。

—特になし—

望月委員長

それでは来年度はこの予定でよろしくお願ひします。
この案件以外に何かありますか。

学校教育課長

資料はご用意してございませんが、既に報道等でご存じかとは思いますが、本市においてインフルエンザの患者が増えております。1月16日に、南が丘小学校2年2組、1月17日に、堀川小学校2年3組及び大根小学校2年1組において学級閉鎖となりました。本日は学級閉鎖はございませんが、現在3校3クラスで学級閉鎖中であるということをご報告させていただきます。

なお、各学校には昨年9月からインフルエンザが流行しそうということで感染予防の指導や対応について逐次文書でお願ひしておりました。ちなみに、1月16日に神奈川県からインフルエンザの流行発生注意報というものがありまして、これがちょうど発令され、各学校に周知したところで発生してしまった状況です。

望月委員長

それでは何かありますか

—特になし—

望月委員長

それでは、その他で何かありますか。

図書館長

お手元に資料はお配りしておりませんが、「じんじん」という映画がございまして、その映画の試写会をご案内させていただきます。この映画については、この映画の監督が秦野市在住ということで、平成25年夏に公開予定なのですが、特別試写会を秦野市観光協会の主催ということで2月16日土曜日午後1時半開場、1時50分開演ということで、図書館の視聴覚室で試写会を行います。映画について、市長が地元の映画監督の映画ということで応援団に入っているため、図書館で試写会を行います。もし、ご都合が付けば、私どもの方で席を確保させていただきますので、2月7日頃までに言っていただけたらと思います。

望月委員長

今、どのような関係者に呼びかけを行っているのですか。

図書館長

近隣の図書館関係者、読み聞かせのボランティアや観光協会から民生委員に対して呼びかけを行っています。

実は、この映画の基になっている撮影地が北海道剣淵町でして、そちらが「絵本の里」ということで以前にふるさと創生基金で図書館を作りました。その読み聞かせ等についての映画ということがあり、近隣の図書館や読み聞かせのボランティア、児童等にふれあう民生委員が対象です。

教育指導課長

関連して、観光協会から小中学校の先生に対しても通知が配ら

望月委員長

れています。

この日には鶴巻公民館の公民館まつりがありますが、時間がありましたら、よろしくお願ひします。

他に何かありますか。

—特になし—

望月委員長

それでは、ただいまから秘密会といたしますので、関係者以外の退席をお願いいたします。

—関係者以外退席—

[削除]

望月委員長

では、以上をもちまして、定例教育委員会を終わります。